

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472401338	事業の開始年月日	平成18年3月1日	
		指定年月日	平成18年3月1日	
法人名	ミモザ株式会社			
事業所名	ミモザ茅ヶ崎萩園			
所在地	(253-0071)			
	神奈川県茅ヶ崎市萩園1202			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成22年6月19日	評価結果 市町村受理日	平成22年9月3日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者一人ひとりに笑顔で寄り添い、ご利用者が居心地の良い、安心した生活の場となるよう創っていこうと、日々スタッフ間で話し合いコミュニケーションをとっている。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成22年7月24日	評価機関 評価決定日	平成22年8月26日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p><事業所の優れている点></p> <p>◇利用者本位のケア姿勢 理念の一つである、「安心できる環境作りに努めます」では、職員の対応が利用者の生活環境に大きく影響することを常に意識したケアを実践しており、利用者にはゆっくりと話しかけ、声の大きさや誘導も、利用者の要望や意向を確認・推察して利用者本位の支援に努めている。</p> <p>◇運営推進会議の取り組み 2か月ごとに会議を開催し、連合会の代表、民生委員、茅ヶ崎市高齢福祉介護課、地域包括支援センターや家族代表が参加し、事業所の運営状況や利用者の現況、外部評価結果等を報告している。会議で得た情報から地域行事に参加したり、防災訓練について意見交換し、地域との協力関係の構築に繋げている。</p> <p><事業所が工夫している点></p> <p>◇防災対策面 災害に備え、食糧と飲料水数日分を備蓄し、職員にはヘルメットを、利用者には防災頭巾を用意している。また、夜間を想定した訓練では、職員が消防署から借りたダミーの人形を背負って訓練を行ない、非常時に備えている。</p> <p>◇新任職員の育成 新任職員には、現場での実務研修を重視し、仕事に従事しながら先輩に学ぶエルダー制度があり実践力を身につけている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ミモザ茅ヶ崎萩園
ユニット名	さざなみ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の経営理念、運営方針、事業所独自の理念と、理念に対する介護の心得を作り壁に貼り付けており、職員間で理念の共有、実践に取り組んでいる。	・理念には「安心できる環境創り・明るい笑顔で穏やかに・常に気づきの努力」を掲げ、管理者は、利用者によりゆったりと傾聴する姿勢で支援するよう、日常的に、又スタッフ会議で説明して、職員間で理念の共有を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会長より地域の催しを教えていただき、桜祭りや盆踊り等、体調のすぐれないご利用者を除き、誘い出かけている。 又、市内中学生のボランティア等交流している。	・加入している自治会から地域の行事情報を得て、桜祭りや盆踊りに参加し、地域の方には敬老の日の事業所の行事を手伝って貰っている。 ・自治会の依頼で市の社会福祉協議会の行事に事業所の案内を掲示したところ、地域の方40名の見学があり、事業所の良いPRになった。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生委員の依頼により、地域の公民館で認知症の講演会を依頼され実施した。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回、入所人数、見学者、ボランティアの受け入れ等の報告、安心できる生活の場作りについてお話し、最近では避難訓練についての報告をし、会議でいただいた意見を取り入れ取り組んでいる。	・運営推進会議は、2か月ごとに連合会代表、民生委員、市高齢福祉介護課、地域包括支援センター、家族代表、管理者で開催している。 ・運営や利用者の状況、外部評価結果、防災訓練等を報告し、災害時の地域との協力体制について意見交換をしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	グループホームの意見交換会や施設部会により情報交換をし協力関係を作っている。	・市の高齢福祉介護課には、事業所の運営状況や困難事例を報告し、また、市主催のグループホーム意見交換会に出席して、助言や指導を仰いでいる。 ・毎月、茅ヶ崎市介護サービス相談員2名を受け入れている。	

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修や勉強会を通し、身体拘束について正しい理解を深め、職員間での共有、実践に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「身体拘束排除宣言」を壁面に掲げている。又、拘束防止について研修し、申し送りやスタッフ会議で振り返り、拘束のないサービスに取り組んでいる。 ・玄関には、外から開けられるタイプの電子錠を設置、各ユニット出入り口は安全に配慮して時間帯によっては施錠している。 	1, 2階の各ユニットの入口や玄関については、スタッフの配置、近隣住民の協力等により、日中は施錠しない介護のあり方の検討が望まれます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は全体会議、ミーティング等で報告し合い、事業内で虐待が見過ごされることが無いよう注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を通して地域福祉権利擁護事業や、成年後見人制度について学ぶ機会を持った。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所は訪問調査や契約時等で、不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解、納得を図るよう努めている。解約時は利用者、家族と十分に話し合い（長期入院の為退居等）を説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃よりコミュニケーションを図り、利用者、家族等の意見は職員の気付きとして、スタッフミーティング、サービス担当者会議等にあげて意見の反映に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に苦情相談窓口を明示し、意見や要望用の目安箱を置いている。 ・家族には、来訪時利用者の個人記録を読んでもらい、話しやすい雰囲気作りを努め、意見や要望を聴いている。 ・利用者からの居室変更の要望を検討し、取り入れた例がある。 	

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から、職員による意見、提案、改善のコミュニケーションを心掛けてくれている。スタッフ会議や全体会議で報告され、職員の意見を聞いて話し合っている。	・毎月、所長、管理者を始め全職員が参加するスタッフ会議で、利用者本位の接遇、ケア方針などを検討し、提出されたの意見や提案を運営に反映している。 ・職員の休憩方法の意見を取り入れ、待遇改善に繋げた事例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	創業式典に、社長賞や本部長賞などを設け、表彰している。 処遇改善交付金をいち早く容認し、4月から増額の為に見直した。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	エルダー社員制度があり、新人職員にその都度ケアや支援方法を指導している。法人内外の研修を受ける機会の確保（認知症実践者研修、認知症実践者リーダー研修等）にも努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年に数回、グループホームの管理者が集まり意見交換会を通して、他のグループホームの意見や経験をケアに活かしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者、ケアマネジャーで訪問調査を行い、本人自身より話をよく聴き安心していただけるよう努めている。 又、家族からご本人の特徴等よく聞く。		

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時、家族とコミュニケーションを図り、会話の中で家族の思いや不安や要望等を尋ね、よく話を聞き、安心していただける関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	一番必要なサービスを見極める為、本人への身体、精神状態について十分な話し合いをする。サービス利用についても、グループホームがどのような場所なのか理解不足の家族も居られる為、いつでも見学、相談等の対応をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の場として、一人ひとりのご利用者、その家族より、生活歴、生きてきた背景を理解しながら、家事やレクリエーションを通し、共同生活として支え合う関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時等に日頃の様子をお話しし、家族の認知症への不安等気持ちを汲み取りながら今後の支援等含めた本人と家族の支えていく関係作りを、話や1ヵ月毎の生活状況を通して築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人と関係ある方々等いつでも足を運んでくれる雰囲気作りをしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時のアセスメントから、利用者の馴染みの関係の把握に努めている。 ・近所の方や近親者の訪問時は、ソファで気楽に談笑できるよう、利用者にお茶の手伝いをお願いするなど、雰囲気作りに配慮している。 ・年賀状が届いた場合は、電話で返事ができるよう支援している。 	

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を、日頃より職員で良く観察し把握し、職員が仲介することで関わり合えるよう支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	特養に移られた利用者の所に、馴染みの職員が機会を作って訪問に行くようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの個性を大切にし、昔からの暮らし方の希望、意向把握に努め、生活してきた今までの背景も把握し本人本位へのケアに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 職員は、利用者にはゆっくり話しかけ、日常の会話と観察を大切にし、思いや暮らしへの希望などの得られた情報は、会議で報告し職員間で共有している。 起床や入浴、食事時間等の習慣を本人や家族から聞き取り、個々の希望に添えるよう取り組んでいる。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしの把握を、利用者本人、また家族から情報収集することで、これまでのサービス利用の経過等含め把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝のバイタル測定、排便等少しの変化への気付きを大切に、日勤夜勤者からの申し送り等で心身状態等の把握をするよう努めている。		

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者一人ひとりの観察をよくすることにより、その人にとっての課題、必要なケアを職員同士で考え、本人、家族、医療との連携により、ケアカンファレンスやモニタリングをしながら介護計画を作成している。	・ケアカンファレンスには利用者も参加し、アセスメントシートを基に利用者・家族の意向を取り入れて、介護計画を作成している。 ・職員は、利用者との日常の関わりから得た思いや、観察で収集した課題を記録し、計画に反映している。 ・介護計画は通常は3か月ごとに見直し、変化があった場合は現状に即して見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は毎日の気付きを大切にしている。記録記入をした職員以外が記録を読んで状態や情報が分かるような記録記入に努め、共有し、ケアへの実践に繋げている。 職員一人ひとり記入の違いがあり、書き方の統一への課題あり。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問診療で24時間体制がとられている。体調が少しでも悪くなった場合等、医療関係者の指示に応じて対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に地域包括支援センターにも参加してもらうようになり、支援に関する協力関係を築いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1度の訪問診療の実施があり、主治医と職員以外に本人にも直接話し、体調や不安なことを本人の口から聴くことで、時に家族も同席し、納得の得られる適切な医療を受けている。	・本人や家族希望のかかりつけ医による医療を、継続して受診できるよう支援している。通院は原則家族に付添いを依頼しているが、対応が困難な場合は、職員が同行している。 ・内科と歯科の協力医による訪問診療があり、緊急時は提携病院と24時間対応できる体制がある。	

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者が体調が悪くなった時や転倒時、急変時等24時間連携が取れ、指示を受けることが出来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携先の病院と連携しており、随時状況を把握している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日頃から、家族に状況を伝え、職員には毎日の申し送りやスタッフ会議等でケアの方向など話している。	・契約時に、常時医療行為が必要になった場合や、利用者が重度化した場合退居の可能性があることを、家族に説明している。 ・職員は、事業所が利用者にとって住み慣れた場所であるよう、かかりつけ医と連携しながら、体調管理に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時への訓練や研修等、もっと機会を増やし今以上に実践力をつける必要がある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策については、避難訓練を定期的に行っているが、全職員が適切な行動を出来るよう身につける必要がある。	・夜間を想定し、又ダミー人形を利用した避難訓練を行っている。 ・訓練によって明らかになった課題を運営推進会議の議題とし、地域の協力の必要性を話し合っている。 ・スプリンクラーは22年3月設置し、食料・飲料水を備蓄している。	

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重するため、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけを実践、思いを汲み取れる対応に努めている。	・職員は、入職時に守秘義務とプライバシー保護に関する研修を受け、誓約書を提出している。 ・日頃よりプライバシーに配慮した言葉づかいを心掛けており、職員が利用者の居室に入る場合は、必ず事前の声かけを徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活の場面で、ご本人が自分で決める時は尊重し、職員がわかりやすい説明をし、安心して頂けるよう支援している。希望を表わせる時は傾聴し、思いへの尊重に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にして、本人の希望に沿った支援に努めている。ベッドに横になりたいという希望があれば横になって頂く。外に行きたいという希望があれば、なるべく本人の言うタイミングに合わせて付き添い、外に出れるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれの支援をしている。女性の利用者で化粧やマニキュア等職員から働き掛けると応じて下さる時がある。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事時は役割を持って頂き、準備や盛り付け、片付けをしている。 ・箸を置く方 ・盛り付け、野菜を切る方 ・テーブル拭き、食器を洗う方	・利用者は、職員と共に料理の下ごしらえ、盛り付け、下膳などができる範囲で行っている。 ・介助の必要な利用者には、職員が声かけしながら支援している。 ・月に1度は、利用者が好みのものが食べられるよう、外食や出前を取り入れている。	

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量のチェックを毎日行うことにより栄養摂取が出来ているか、水分量チェックをしながら確保している。状態や力等をよく観察し変化に気づくようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入床前は本人による歯磨きや口腔ケアの徹底は全利用者出来ているが、朝、昼食後は一部の利用者しか実践していない。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	便意、尿意のない方には、本人への声かけ、表情、仕草から汲み取り、納得の上誘導し、排泄パターンの支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ケアチェック表」「排泄チェック」で排尿・排便パターンの把握に努めている。 ・利用者のしぐさや表情から様子を察知してさりげない声かけで排泄の自立を支援し、便意、尿意のない方にはパターンを読み取ってトイレ誘導している。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響を職員一人ひとり理解し、医療機関と連携を取りながら、飲食物の工夫や運動、下剤の調整等、個々に応じた予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴拒否のある方へは希望を聞き、タイミング良く入ってもらおう。 季節の行事では柚子湯にしたり、入浴を楽しんで頂きえるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴は週2回を基本とし、シャワー浴、足浴、シャワーチェアでの入浴支援も必要に応じて取り入れている。 ・入浴を拒む方には、「足を温めましょう」「薬を塗りましょう」など、声かけを工夫して入浴を支援している。 	

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日頃の観察から、椅子や車椅子で傾眠されているご利用者には居室で休まれるよう声かけしている。状況に応じて、休息したり眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬については、薬剤師による勉強会に職員が参加したり、日頃より医療機関との連携により、薬の目的や副作用、用法、用量について理解に努め、服薬の支援につなげている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活に張りを持って頂く為、一人ひとり個別の役割（家事）や楽しみごと（趣味）の支援をしている。楽しみごとについては今後も職員同士アイデアを出し合い、支援に努める必要がある。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	行事の外出支援（いちご狩りや初詣等）は出来ているが、現状として外出出来る職員の人数が足りず、ドライブに行くことも少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの公園に、徒歩や車椅子で、散歩に出掛けている。近所のスーパーに買い物に出かけたり、家族と墓参りに行く利用者もある。 ・玄関脇のスペースが広いので椅子を出し、外気浴に心掛け、リハビリ体操や歌を歌っている。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホーム管理だが、だいたいだがお金については、一人ひとり使えるように話してはあるが、自由に所持して使えるようにはなっていない。買い物には必ず職員が同行し金銭の管理をしている。		

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやり取りは現在していないが、電話を出来るよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同生活の場の為、ご利用者一人ひとりが気持ちよく、居心地の良い環境作りに努めている。 生活感や季節感を採り入れた空間を作り、写真等も貼り、家族にも行事の様子等見て頂けるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・共用空間の一部は、吹き抜けで開放感があり清潔で明るい。又、ソファやテーブルを備え、テレビコーナーや落ち着いてくつろげるスペースを工夫している。 ・季節感のある七夕飾りや観葉植物を置き、廊下には利用者の習字や日本画の作品を飾って心地よい環境作りに努めている。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事スペースとソファがあり、独りで新聞や本を読んだり気の合うご利用者同士座り、思い思いにお茶を飲んだり過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、本人や家族の希望を相談しながら、仏壇やチェスト等好みのものが置かれている。	<ul style="list-style-type: none"> ・使い慣れた調度品やテレビ、家族の写真、習字等の作品を飾り、仏壇を置いている利用者もおり、居心地よく過ごせる空間となっている。 ・利用者は職員と一緒に、できる範囲で居室の掃除を行っている。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの残存機能を活かし「出来ること」や「わかること」を活かし、スタッフミーティングやケアカンファレンスをしながら、朝夕の申し送りや体調の把握をし、安心、安全な生活の場作りをし、生活出来るよう支援している。		

事業所名	ミモザ茅ヶ崎萩園
ユニット名	しおかぜ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社の運営理念、運営方針の他に、事業所独自の理念と理念に対する介護の心得を何か所かの壁に貼付している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議にて自治会長より地域の祭り、福祉文化祭等の情報を得て、地域の方と一緒に参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	平成22年5月地域の民生委員をリーダーとした健康クラブの皆さんに認知症を正しく理解する講演を実施した。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では毎回入所人数、ホームの行事、見学者、ボランティアの受け入れ等報告している。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	茅ヶ崎市介護相談員が定期的に足を運んでくれている。 又、生保の方も入居されていることもあり、市担当者とは連絡が密に行われている。		

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束をしないケアと鍵をかけないケアに取り組んでいる。帰宅要求で出て行かれそうになるご利用者には職員がそばに居る様努め、施錠する事がある時は職員は理由を記録している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ご利用者に対して日々無視等の心理的虐待をしていないか、職員は全体会議、ミーティング等で虐待が見過ごされていないよう防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を通して地域福祉権利擁護事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時は訪問調査等で不安疑問点を尋ねている、解約時は利用者、家族と話し合い説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃よりコミュニケーションの中で得たことを、職員は気づきとしてスタッフミーティング、ケアプランの作成時等の意見に反映させている。		

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から意見、提案、改善等のコミュニケーションを取るよう心掛けている。スタッフ会議、全体会議で報告され、スタッフの意見も聞いて話し合っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	創業式典に、社長賞や本部長賞などを設け表彰している。 処遇改善交付金をいち早く容認し、4月から増額の為に見直した。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	エルダー社員制度があり、新人職員にOJTで伝えるようにしている。 法人内外の研修を受ける機会の確保（認知症実践者研修、リーダー研修等）にも努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者またはケアマネージャーが2ヶ月に一回、茅ヶ崎市の施設部会や地域連絡協議会に参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者、現場リーダーの二人で訪問調査しながら、本人自身からよく聴く機会をつくっている。		

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時や家族からの相談にはその都度よく聴くように努め、スタッフ全員でミーティングをするよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	十分な話し合いがまず必要で、サービスを利用してもグループホームがどのような所なのか理解不足の家族もおられる為「夜以外はいつでも見に来て下さい」と伝え、見学、相談等の対応をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の場の中で一人一人のご利用者の個性を引き出せるよう支援し、レク、昼食時、会話の中でご利用者の昔の様子、思い出を聞きながら職員も学ばせてもらっている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時等に日頃の様子や個人記録等を見てもらい、ご利用者にとってどう支援していくか家族と話す機会を持ち支えていく関係を築いている。 1ヵ月ごと生活状況表を送付している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも誰が来ても自由な雰囲気づくりに努めている。友人、親戚の方々が安心して足を運んでくれるよう努めている。 はがき、写真を同封し手紙等の返事に送付している。		

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の場面において、利用者同士が関わりあえるよう努めている。洗濯たたみ、掃除、モップがけ、配茶、料理盛り付け等の中でご利用者同士の昔話等をさりげなく支え支援をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後もご利用者との関係は続き、ご家族が状況を知らせてくれたりしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	昔からの暮らし方の希望、意向把握に努めている。起床時間の早い方（5時）、遅い方（8時）その方の意向に沿うよう努める等している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴やサービス利用の経過等の把握に努めている。独居が長く人に衣類を触られたくない方には洗濯物を渡し本人にしまってもらったり、見守りしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝のバイタル測定、日夜勤者からの申し送り等で心身状態等の把握に努めている。		

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会時にスタッフがご家族に日頃の様子を伝え、又個人記録も読んで頂いている。その上で利用者、家族、医師等の必要な関係者の意見を反映した介護計画を作成している。変化が生じた場合（膝痛訴え、歩行不安定）、本人、家族、必要な関係者と話し合い、即した計画作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	仕事に入る前の申し送りリスト、個人記録を見て、その場の気付き等共有している。ご利用者が実際に言った言葉等も残すようにし、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問診療等で24時間体制がとられている。医療関係者の指示に応じて対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアによる習字教室、外出、歌等、月に3、4回支援してもらっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関と連携し、2週間に1度の往診の実施、緊急搬送先等適切な医療を受けられるよう支援している。 (歯科医は週1回往診)		

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者に急変があった場合に看護師と連携をとっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携先の病院と連携しており、随時状況を把握している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日頃から家族に状況を伝え、スタッフは毎日の申し送りやケアカンファレンス等でケアの方向等を共有している。 又、身体状況の見極めについては、かかりつけ医と随時連絡をとりながら変化に備え、検討や準備をしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応は電話機の所に連絡先等のマニュアル一覧表を置き、全職員が落ち着いて対応できるよう折に触れ実践している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼夜を問わず利用者が避難できる方法を実施し、近所の方へも（夜間想定平成22年は4月、5月）協力していただき実施している。		

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフミーティング等で職員にご利用者に誇りやプライバシーを損ねるよう言葉かけ等の注意をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活の場面でご本人が自分で決めたり思いや希望を表わせる時は傾聴し本人が自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、その希望に沿って支援している。横になりたい希望があればベットに横になっていただき、階段の上り下りの訓練をしたいとの希望があれば職員は見守り行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれが出来るよう支援している。ご利用者で化粧したいときは職員が手伝っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝の食事から一緒に準備し、食事片づけをしている。 ・テーブルを拭く人 ・盛り付け、調理をする人		

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を使い、栄養摂取や水分確保、水分量のチェックをし、一人ひとりの栄養を把握支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは毎日行っている。週末は入れ歯洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ケアチェック表に記入とともに、ケアカンファレンス、申し送り等で利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄の自立に向けた支援をしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳、ヨーグルト等おやつの時間等に毎日取り入れている。 ご利用者の排便チェックと行い、排便のない方に朝牛乳を飲んでもらう等している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日午後入浴の時間帯にしている。 便失禁等でご利用者が不快に感じている時は夜間以外いつでもシャワー浴で清潔を保てるよう支援している。		

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者のその時々状況に応じて、入床時間は一人ひとりの状況に応じている。19時30分頃より休まれる方がいるので、居間のテレビの音は少し小さくし、照明は全灯から少し弱めにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の目的、副作用は各職員が薬をセット、服薬の支援をしているので、症状の変化の確認に努めている。 毎日のケアチェック表の記入と共に体調が良ければ往診時主治医に薬の減量へ話しあっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中でその人の生活歴や力を活かしている。おやつ等は利用者と一緒に買い物に出かけ好きなものを購入してもらっている。 又、玄関前の花の水やりや、天気の良い日は玄関前にてお茶を飲んでもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	市の敬老会等には地域の民生委員方々や家族の方にも協力していただき出かけられるよう支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望や力に応じて個別の預かり金からご本人が購入できるようにしている。(化粧品等)		

ミモザ茅ヶ崎萩園

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族から職員に電話の際も、ご本人が電話に出たり、本人自ら電話をかけたりされている。 はがき、年賀状が届いた際は本人から返信したり出来るよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各スペースには生活感や季節感が楽しめるよう観葉植物や花が置かれ、居心地良く過ごせるよう工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事スペースのテーブル、椅子とテレビの前にはソファがあり、気のあった利用者同士が思い思いにお茶等を飲んで過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、家族、本人の希望を相談しながら、仏壇、家族の写真等好みのものが置かれている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの方向が理解出来ない方には、矢印で方向を書いてあり、出口にはカーテンに鈴をつけ、職員、利用者に分かるようにしている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 ミモザ茅ヶ崎萩園

作成日 平成22年9月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	2階の各ユニットの入口や玄関については、スタッフの配置、近隣住民の協力等により日中は施錠しない介護のあり方の検討。	玄関については、前の道路の車の往来が激しい事もあるので施錠しないと危ないが、2階についてはスタッフと連携をとり見守りを強化して施錠しないようにする。	2階から1階に降りて行く利用者は決まっているので、常にスタッフと連携をとり居場所を確認する。	2週間
2					
3					
4					
5					